

木材需給動向について (九州地区)

2021年9月
林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ スギ（九州地区）

ウ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国・九州地区）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

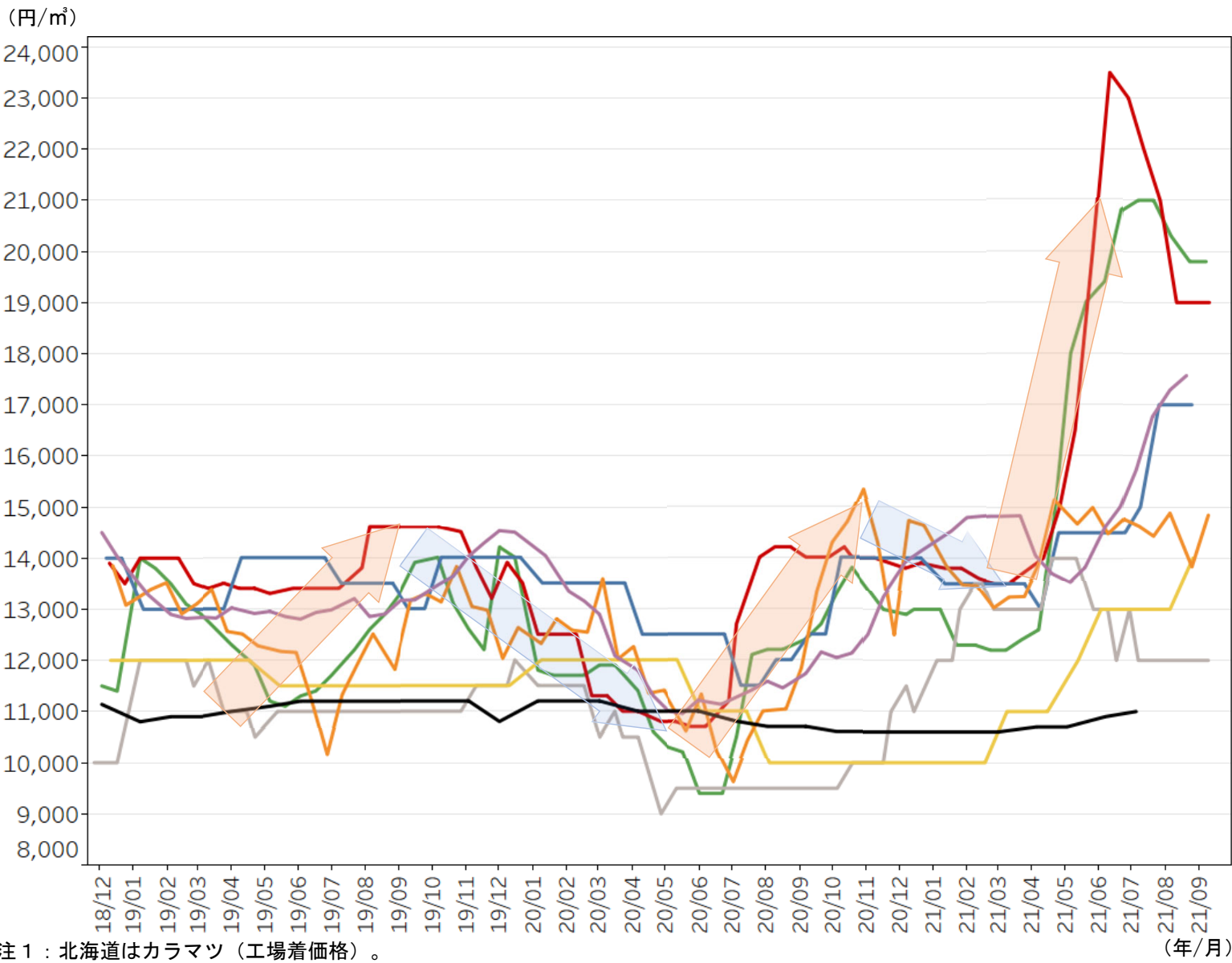
3 住宅着工戸数の動向

(1) 全国の住宅着工戸数

(2) 九州地区の住宅着工戸数

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 2021年に入ってから、例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、4月以降、上昇が見られる地域が多く見られる。九州地域では価格が高騰したが、直近では下落傾向も見られる。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比25%から60%増となっている。



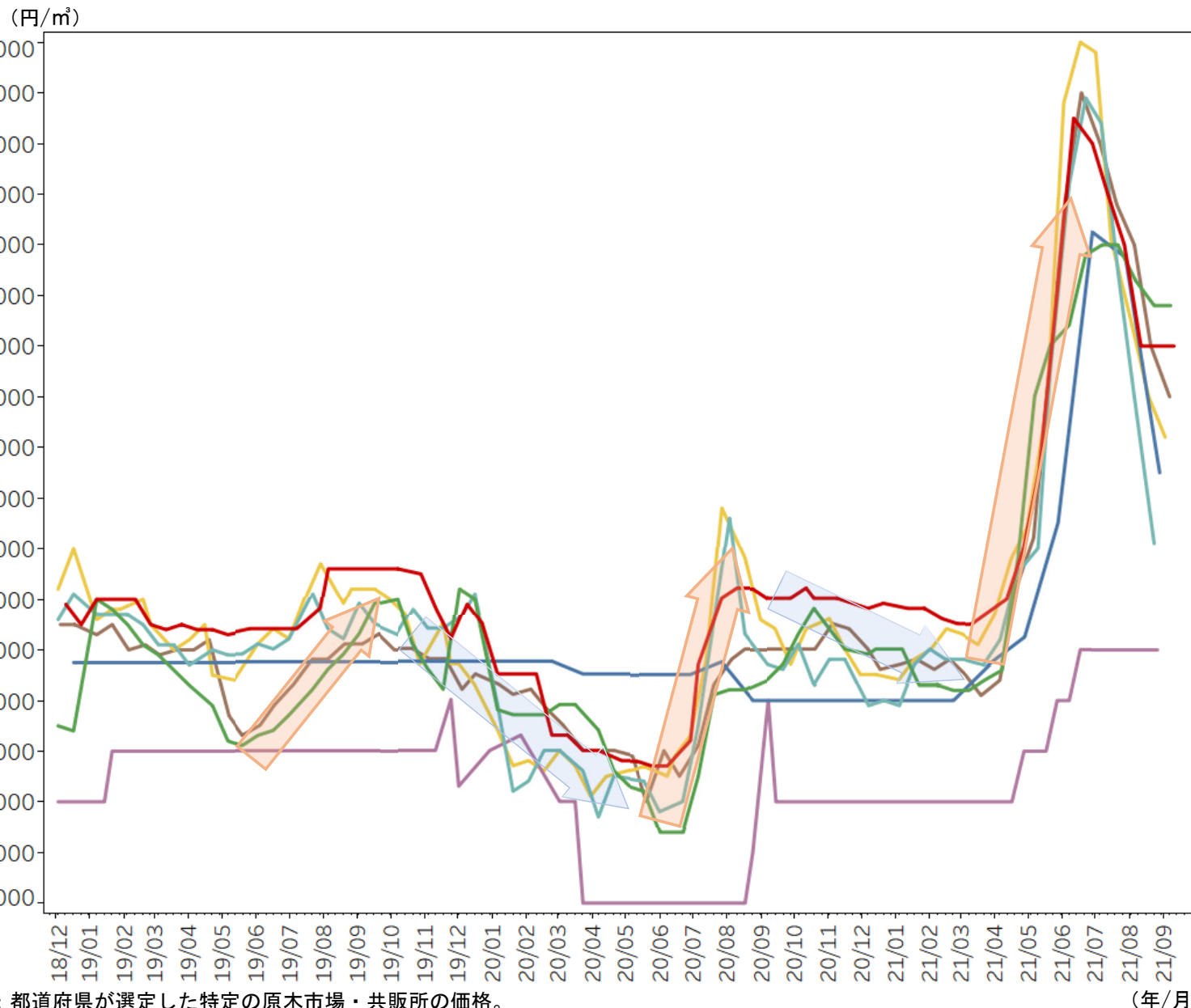
都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	11,000	10,800	2%
秋田県	17,570	11,450	53%
栃木県	14,840	11,840	25%
長野県	14,000	10,000	40%
岡山県	12,000	9,500	26%
高知県	17,000	12,000	42%
熊本県	19,000	14,000	36%
宮崎県	19,800	12,400	60%

※栃木県、岡山県、熊本県及び宮崎県については9月、秋田県、長野県及び高知県については8月、北海道については7月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

イ スギ（九州地区） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ・ 2021年に入ってから、例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、4月以降、上昇が見られる地域が多く見られる。九州のほぼ全域で価格が高騰したが、直近では下落傾向も見られる。
- ・ 直近のスギ原木価格は、前年同期比14%から60%増となっている。



都道府県	2021年 直近※	前年 同期	前年 同期比
福岡県	15,100	13,300	14%
佐賀県	16,500	12,000	38%
長崎県	13,000	9,000	44%
熊本県	19,000	14,000	36%
大分県	17,200	13,600	27%
宮崎県	19,800	12,400	60%
鹿児島県	18,000	13,000	39%

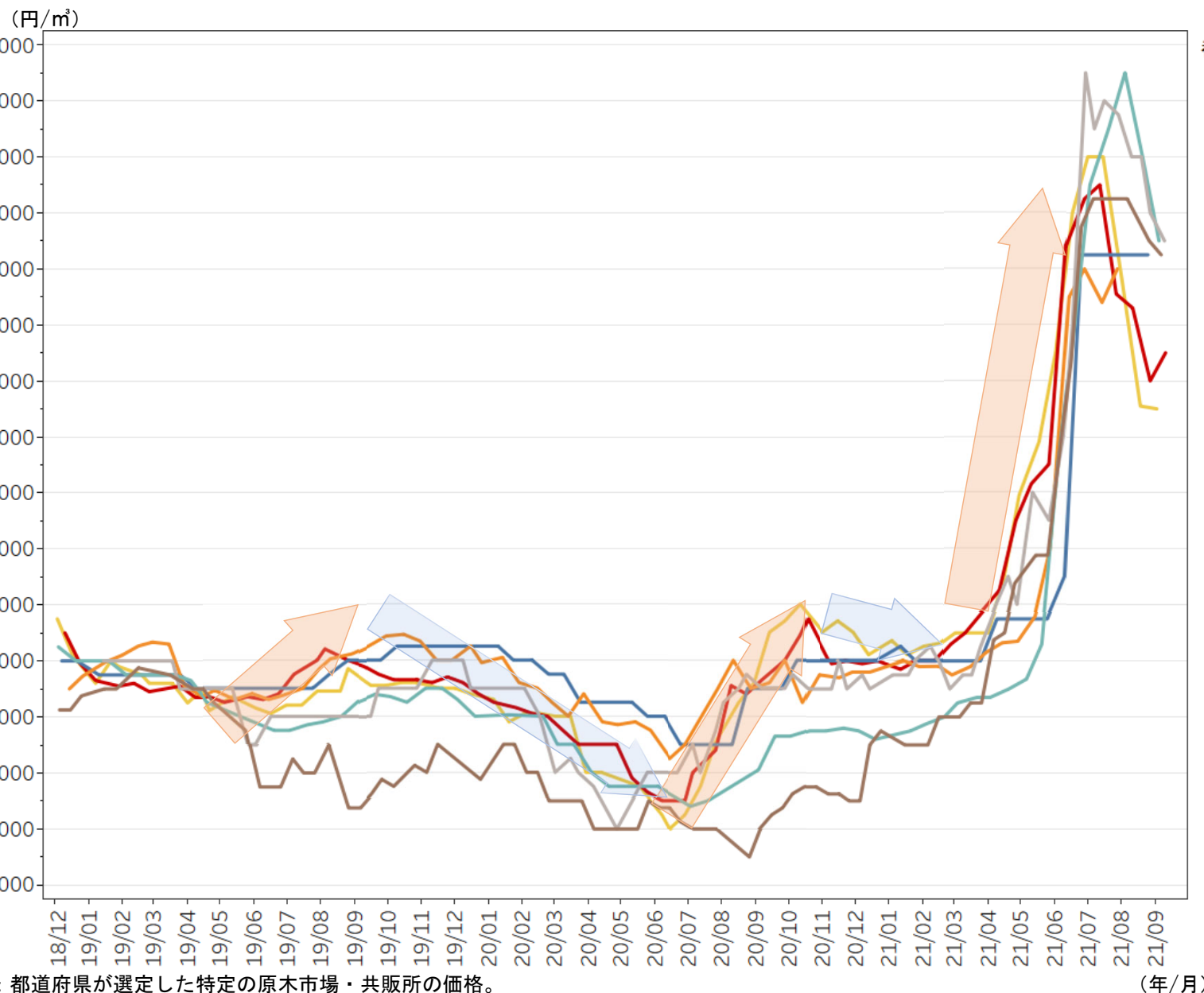
※熊本県、宮崎県及び鹿児島県については9月、福岡県、佐賀県、長崎県及び大分県については8月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ・ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、2020年6月頃の価格は例年以上に大きく低下したが、2021年に入ってから、例年であれば原木価格が下落する時期にもかかわらず、全ての地域で大きく上昇したが、直近では下落も見られる。
- ・直近のヒノキ原木価格は、前年同期比57%から171%増となっている。



都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
兵庫県	32,500	12,000	171%
岡山県	33,000	17,000	94%
広島県	33,000	14,100	134%
愛媛県	32,000	15,000	113%
高知県	32,500	17,000	91%
熊本県	29,000	17,300	68%
大分県	27,000	17,200	57%

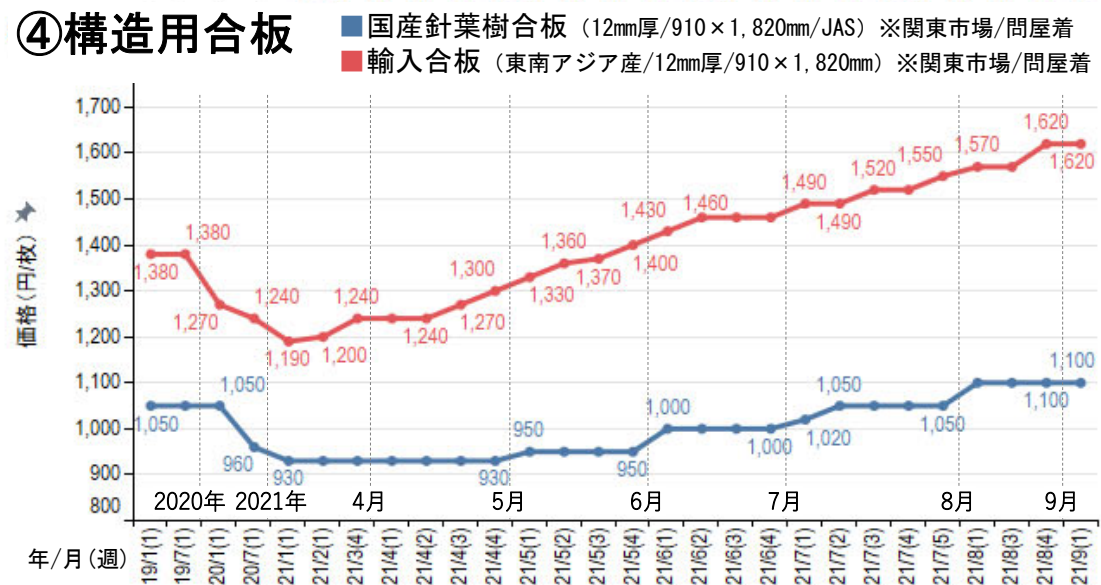
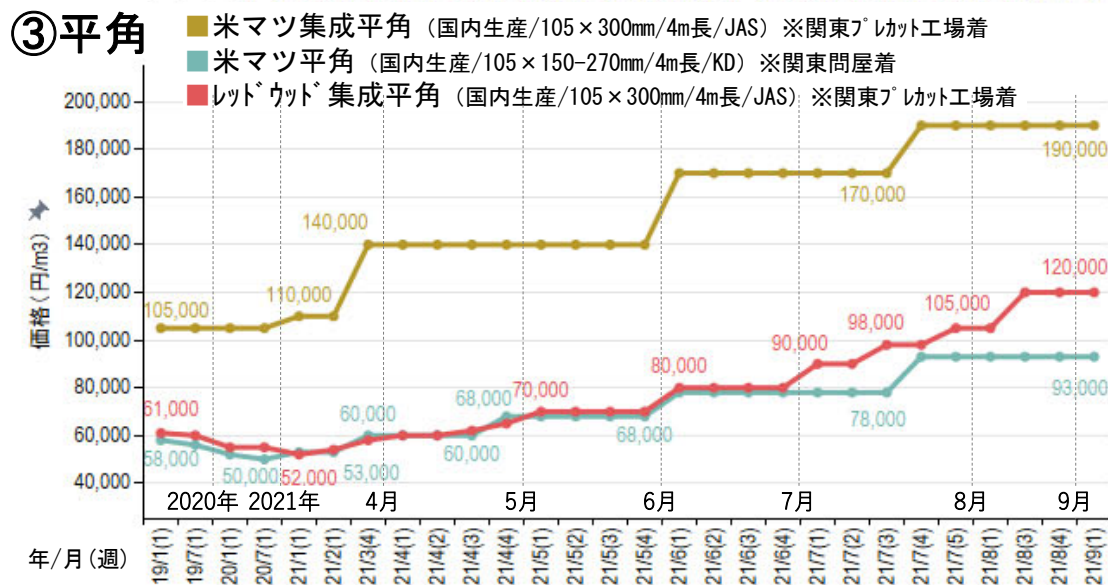
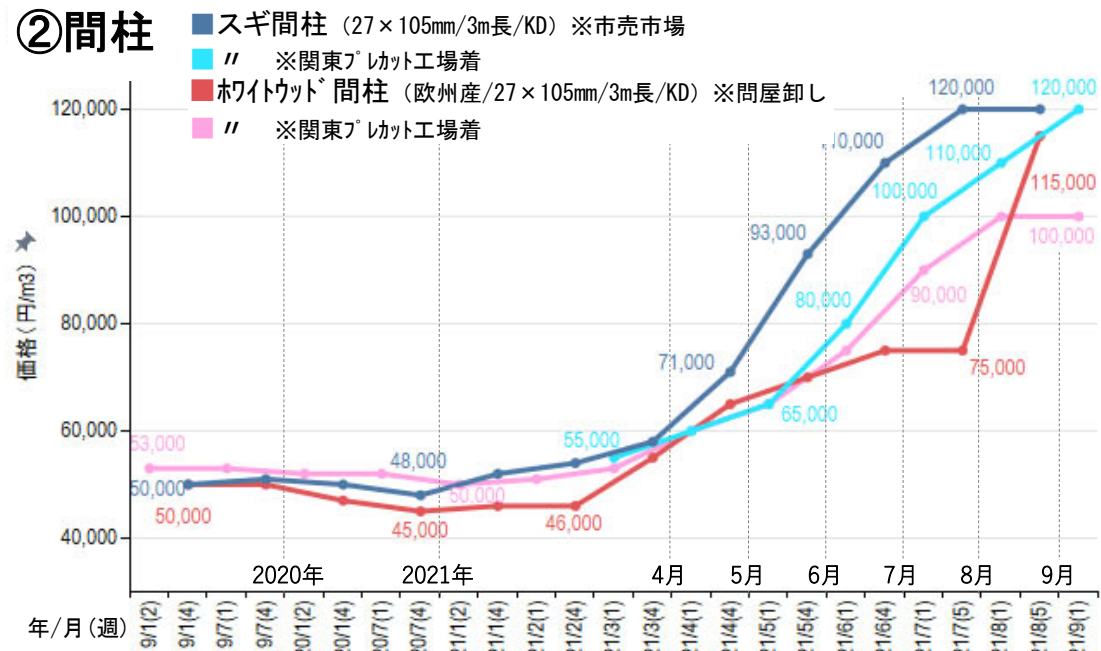
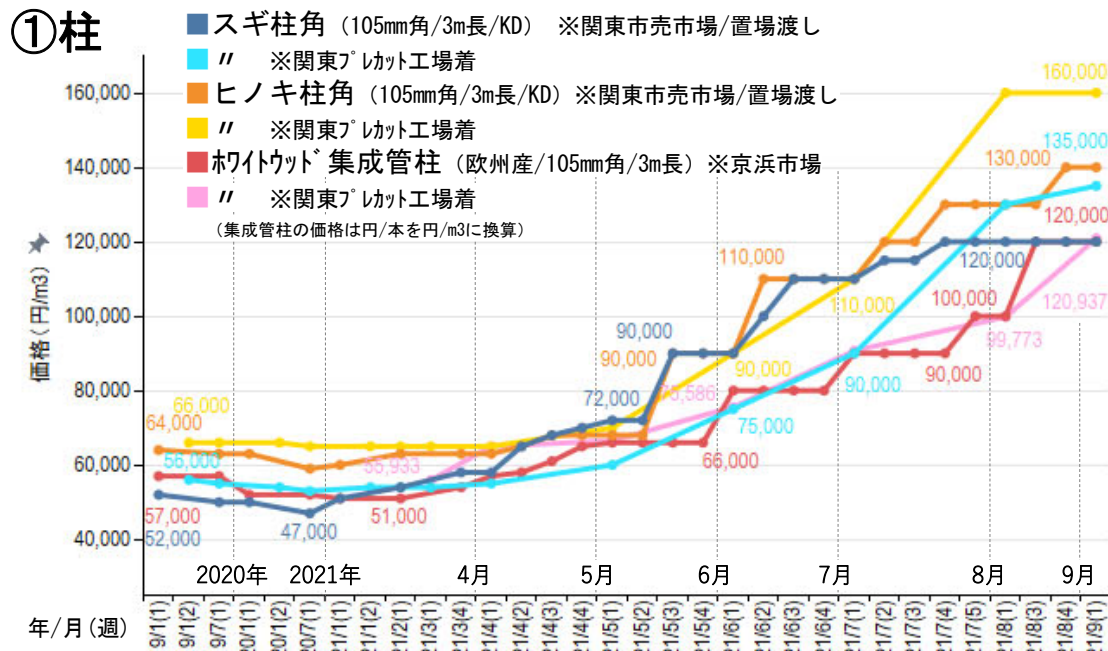
※兵庫県、岡山県及び熊本県については9月、広島県、高知県及び大分県については8月、愛媛県については7月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

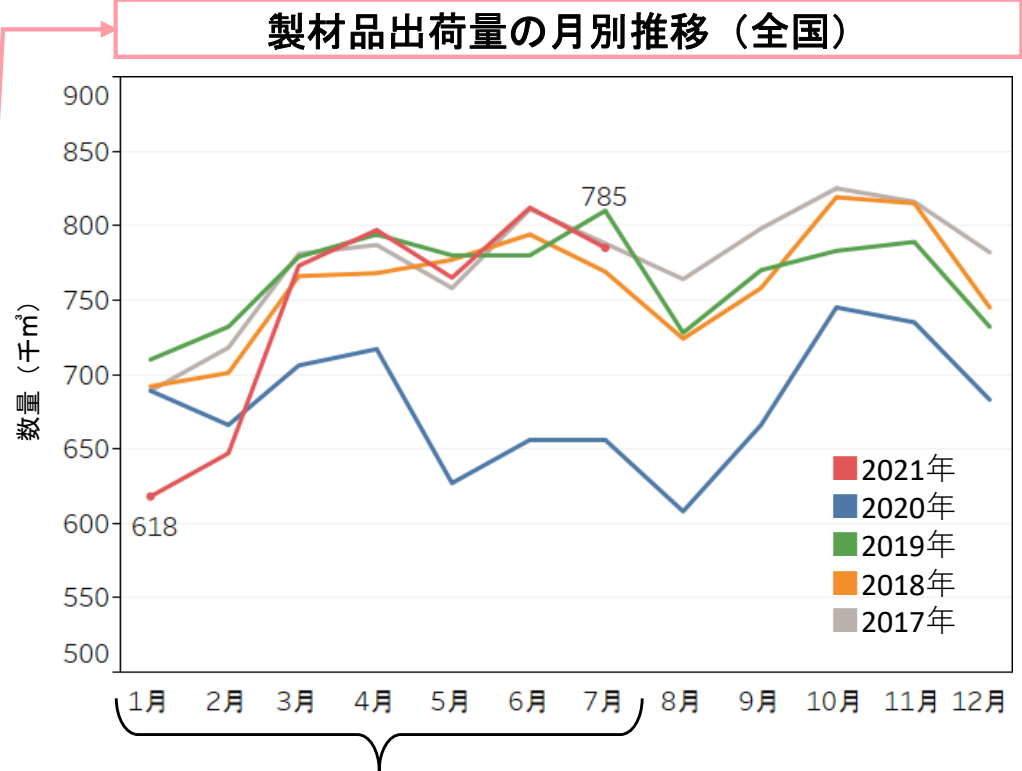
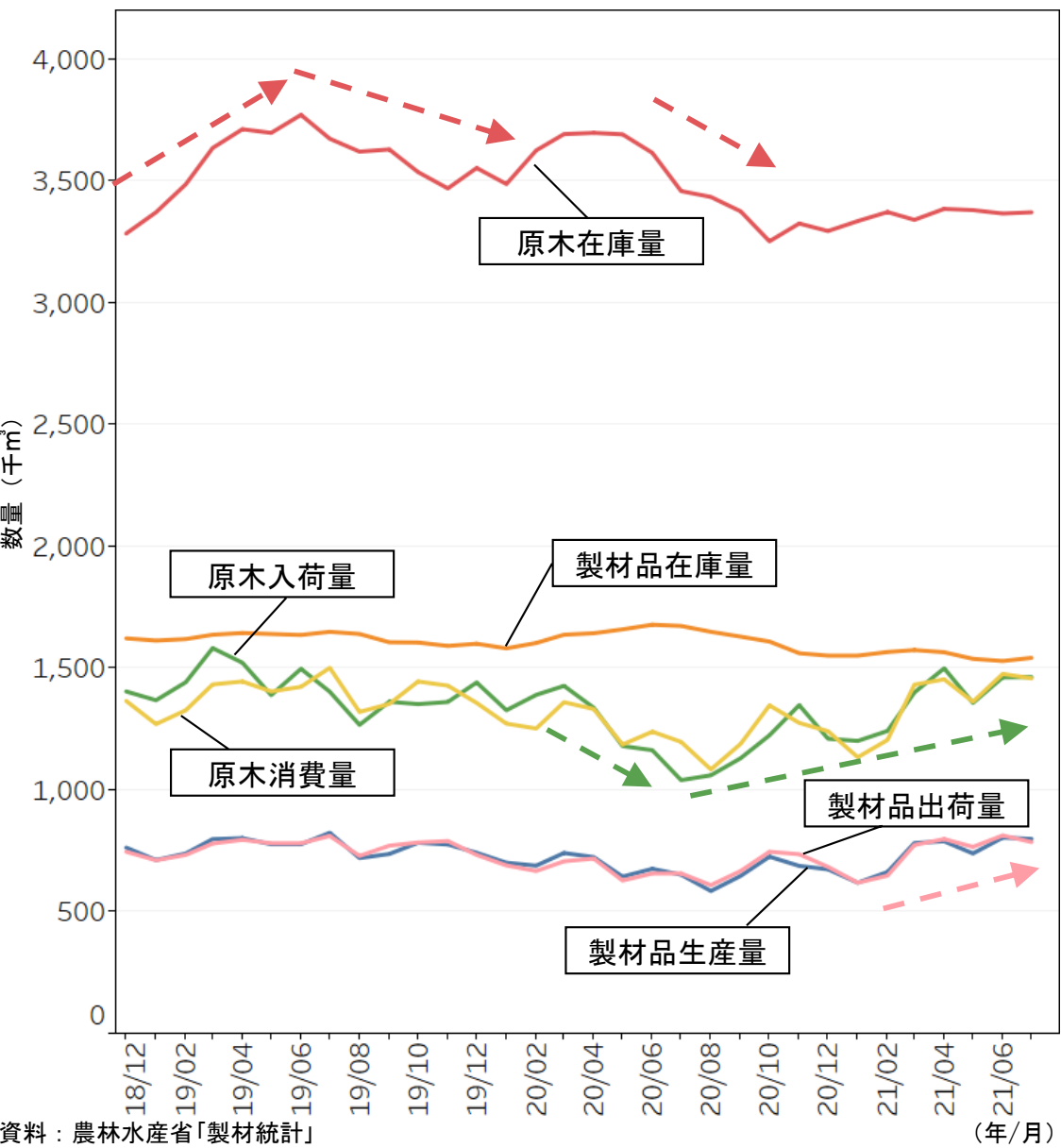
- ・ 輸入材製品価格は、北米、中国、欧州など世界的な木材不足に加え、コンテナ不足による運送コストの増大等により高騰。
- ・ 国産材の代替需要が発生し、国産材製品価格も上昇が続いている。



2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

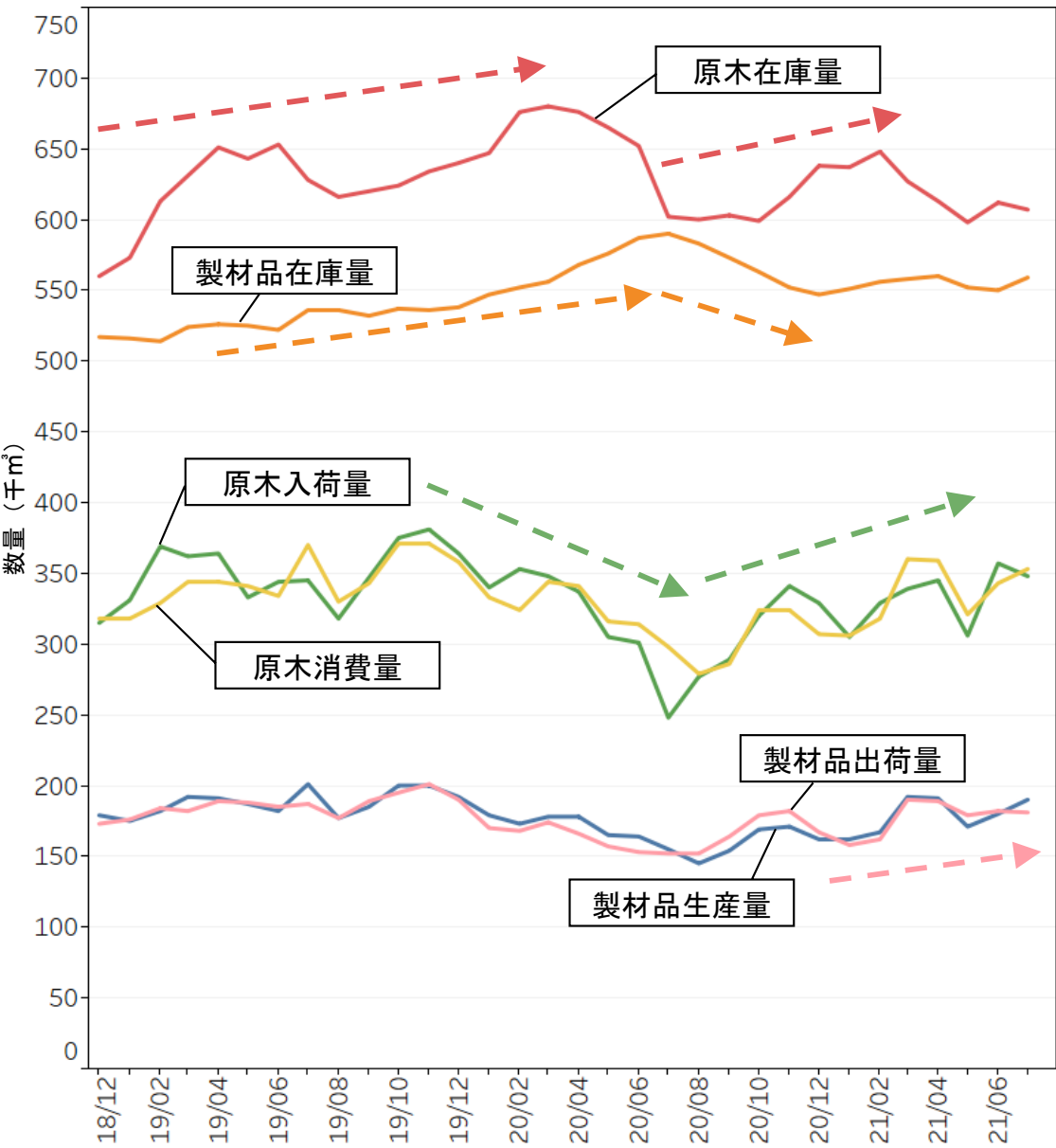
- ・ 製材品の生産量及び出荷量は、2021年2月からコロナ感染拡大前の水準となっている。
- ・ 原木の入荷量及び消費量においても、2021年1月から増加傾向。



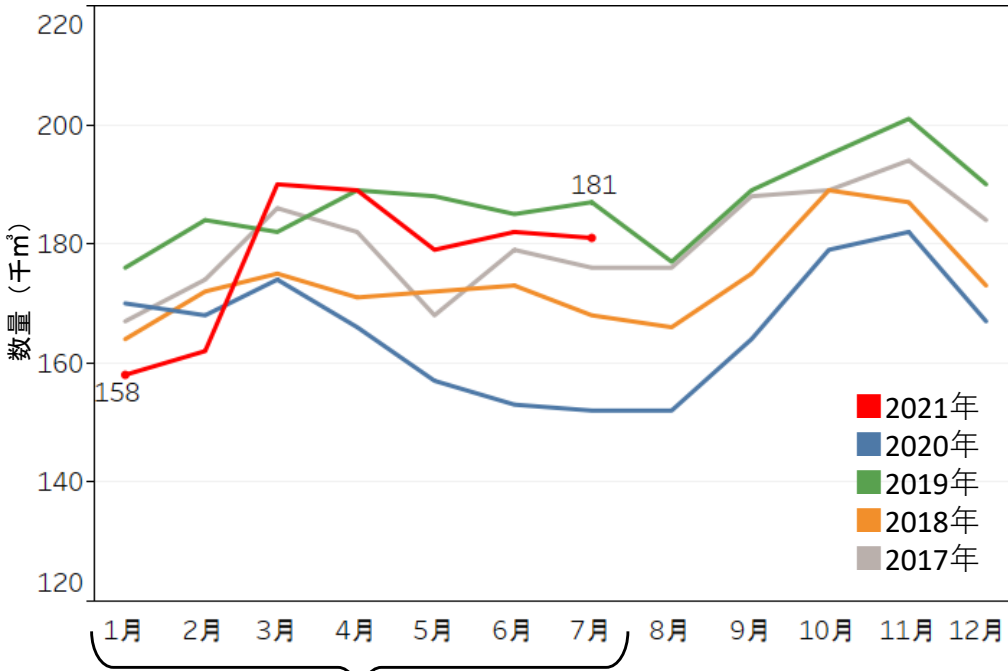
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～7月出荷量 伸び率	14%	11%	14%	-5%	27%
1～7月出荷量 合計 (千 m^3)	5,332	5,267	5,385	4,717	5,197

(1) 製材（九州地区）

- 九州地区の製材品の生産量及び出荷量については、2021年3月に急増。その後も高いレベルで推移。
- 原木の入荷量及び消費量は、2021年1月から増加傾向。

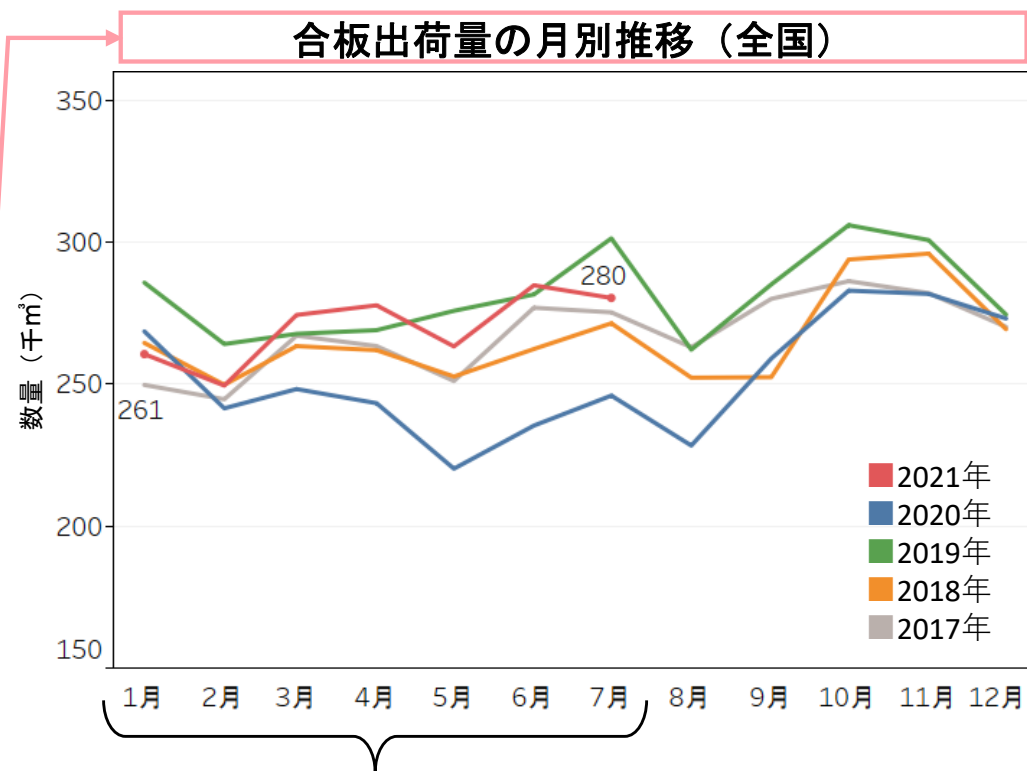


製材品出荷量の月別推移（九州地区）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～7月出荷量 伸び率	5%	2%	6%	-11%	15%
1～7月出荷量 合計(千m3)	1,232	1,195	1,291	1,140	1,241

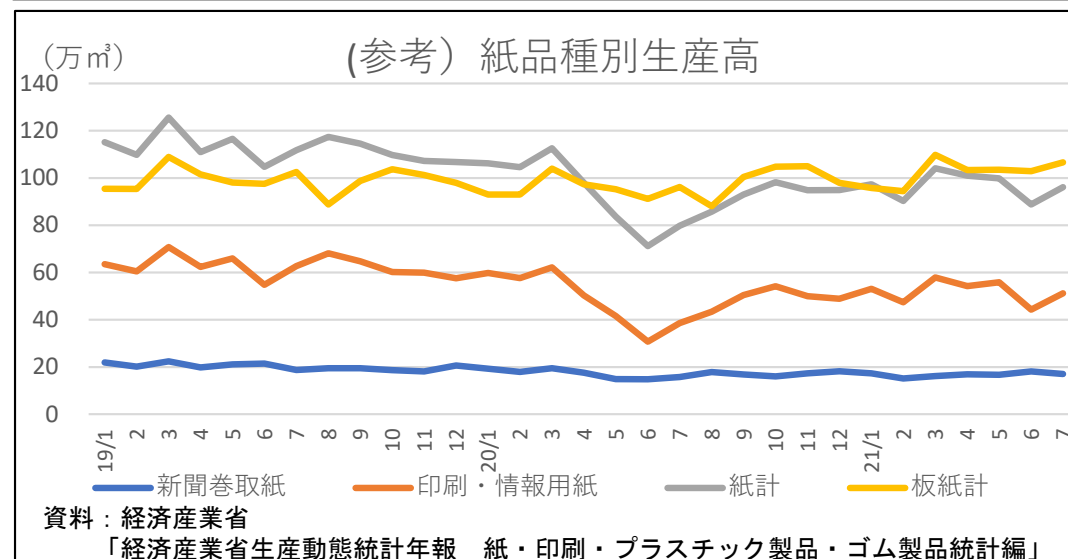
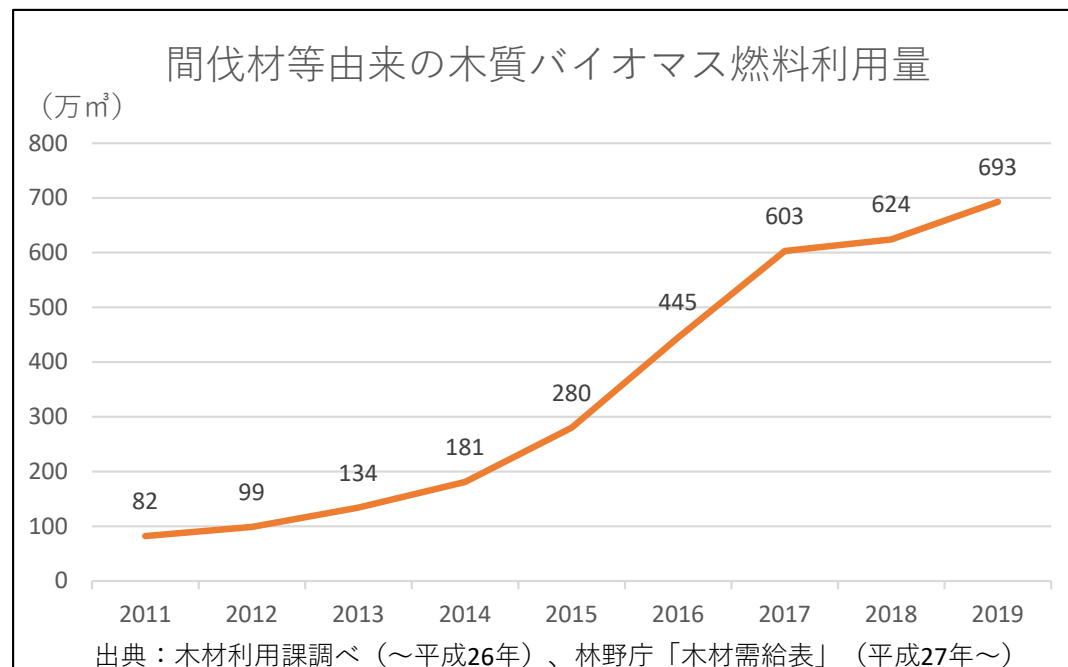
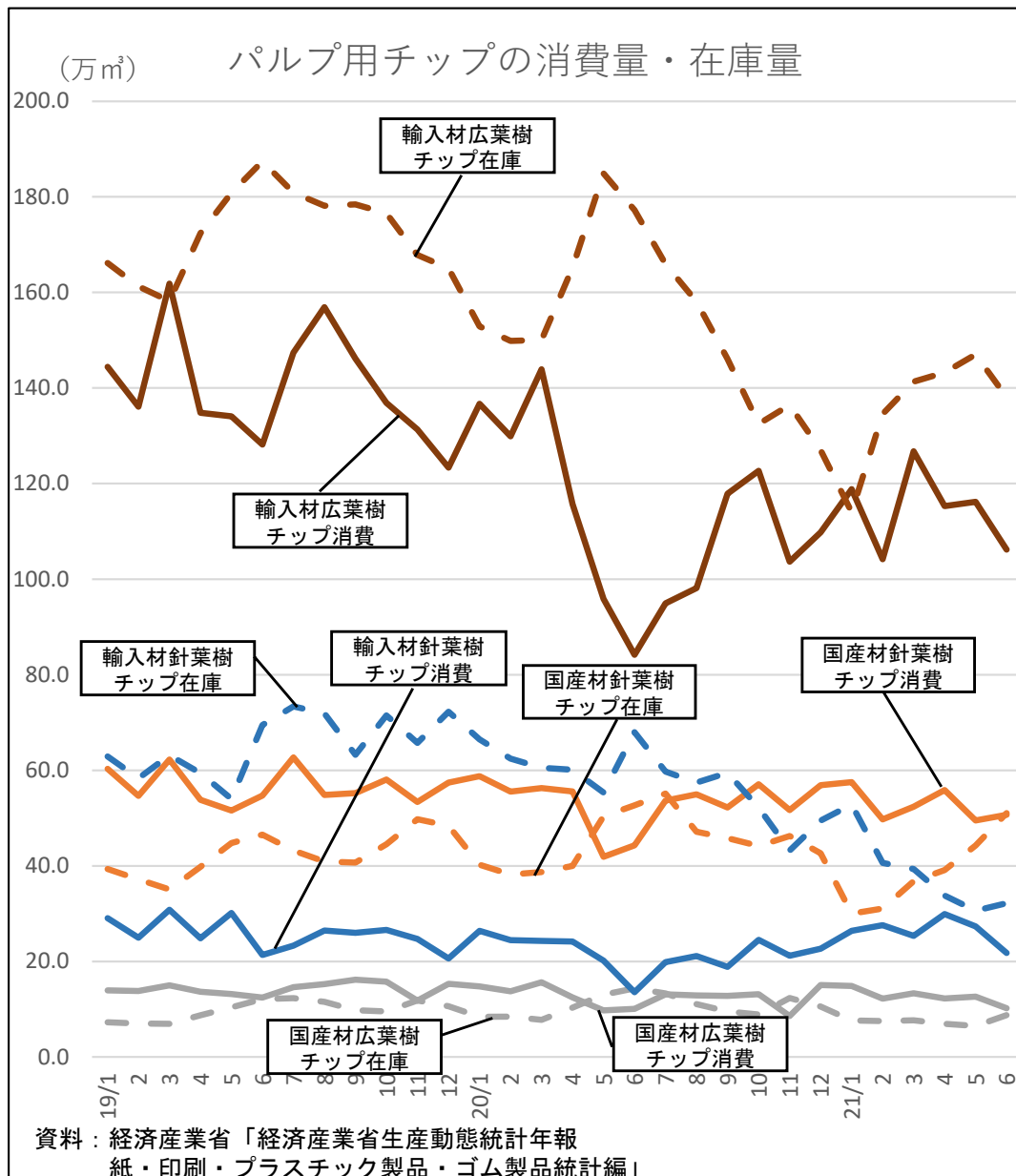
- ・合板の生産量及び出荷量は、2021年2月から増加傾向。コロナ感染拡大前の水準となっている。一方、在庫量は2020年6月以降減少傾向で推移。
- ・原木の入荷量・消費量は、2020年9月以降、上昇傾向にある。



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～7月出荷量 伸び率	10%	3%	5%	-8%	8%
1～7月出荷量 合計(千m3)	1, 828	1,826	1,945	1,703	1,890

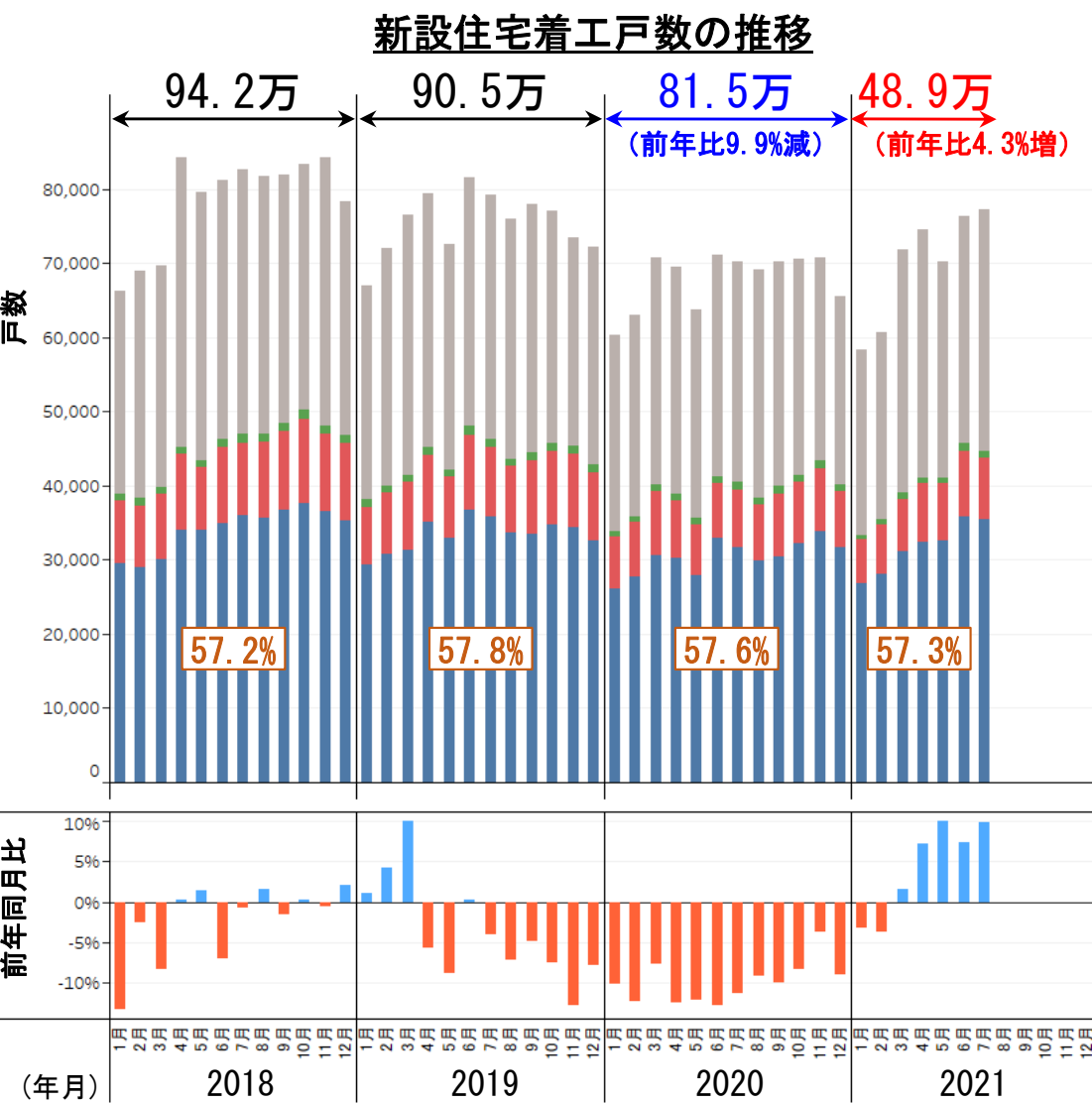
(3) チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。
- 木質バイオマス発電向け燃料は、増加傾向が続いている。

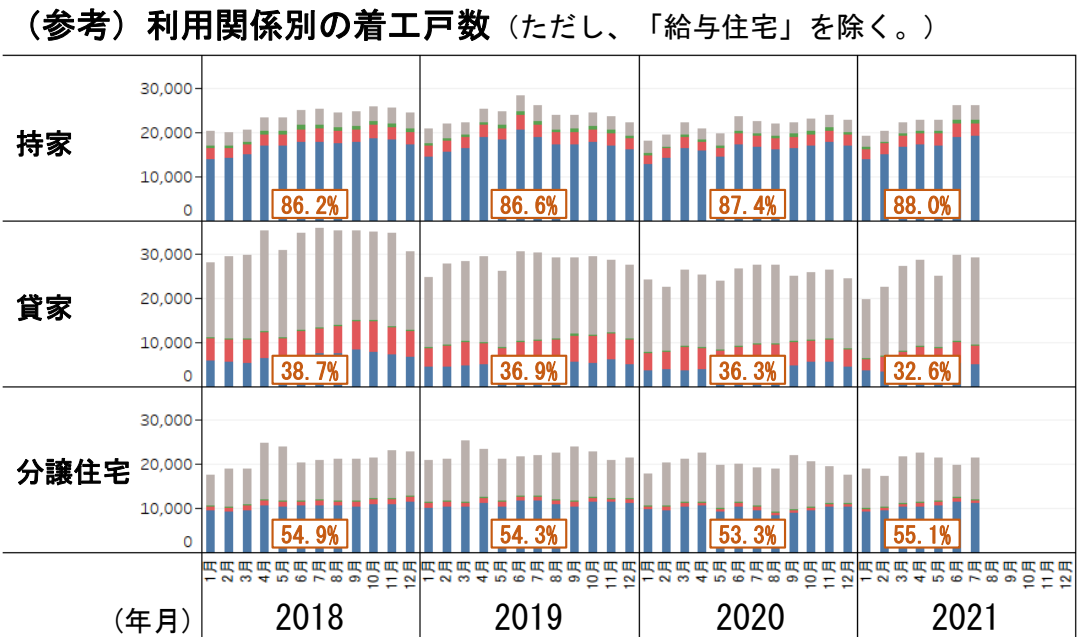


3 住宅着工戸数の動向 (1) 全国の住宅着工戸数 (2018年1月～2021年7月)

- 2020年の新設住宅着工戸数は、81.5万戸（前年比9.9%減）、このうち木造住宅は46.9万戸（同10.3%減）。
- 2021年1～7月の新設住宅着工戸数は、48.9万戸（前年比4.3%増）、このうち木造住宅は28.0万戸（同5.5%増）。
- 2020年は緊急事態宣言の発令により、住宅展示場の来場者数が落ち込むなど大手・注文住宅の受注機会が大幅に減少したが、郊外の戸建住宅に需要が高まるなど全体としてはリーマンショック時ほどの落ち込み※は見られなかった。
（※2009年の新設住宅着工戸数は前年比28%減となった。）



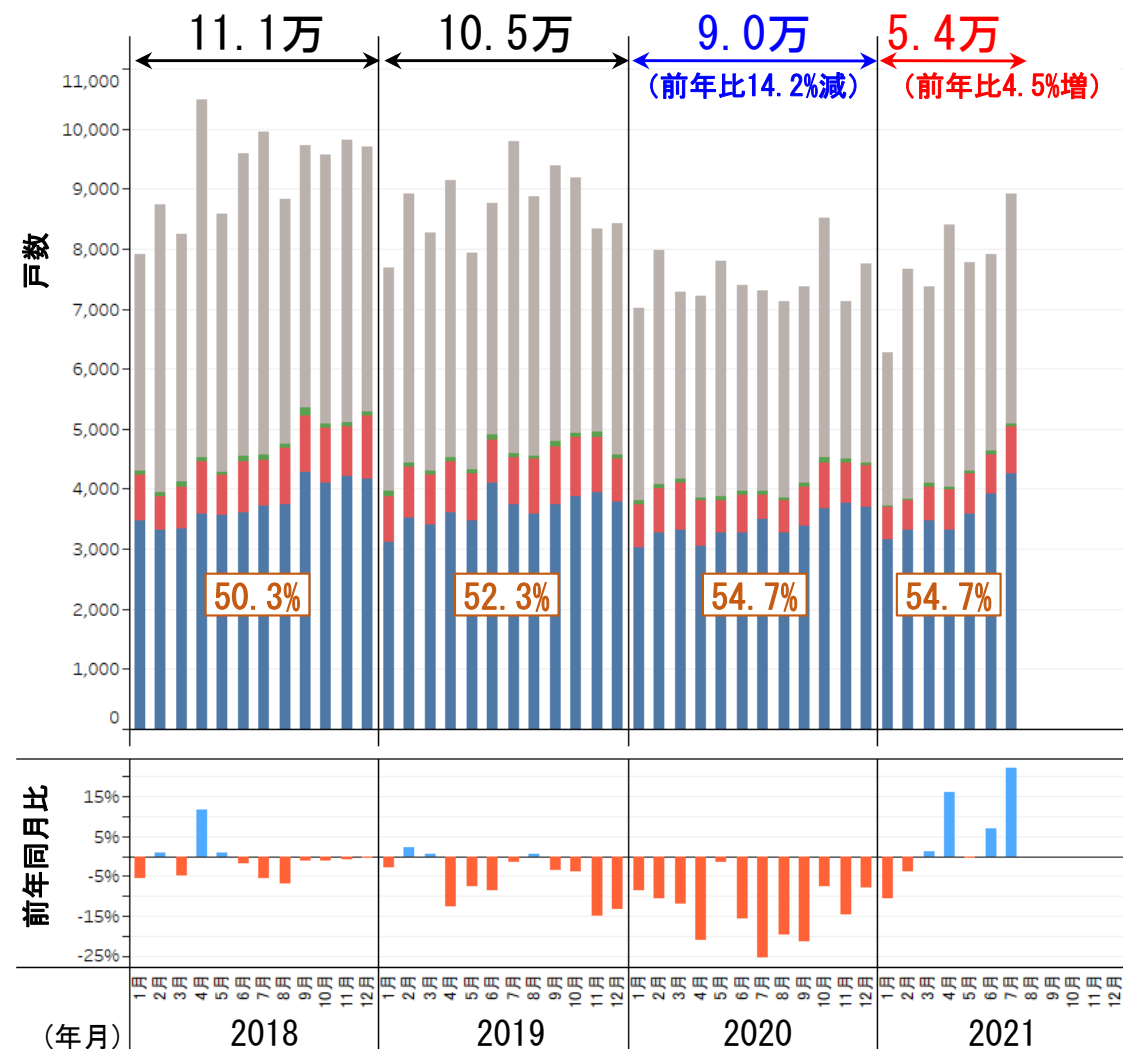
構造別の着工戸数	2021年 1～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	489,192	468,927	4.3%	528,354	-7.4%
■非木造	208,715	202,964	2.8%	226,993	-8.1%
木造	280,477	265,963	5.5%	301,361	-6.9%
■木造プレハブ	5,567	6,075	-8.4%	7,012	-20.6%
■2×4	52,430	52,576	-0.3%	61,889	-15.3%
■在来軸組	222,480	207,312	7.3%	232,460	-4.3%
□木造率	57.3%	56.7%		57.0%	



(2) 九州地区の住宅着工戸数（2018年1月～2021年7月）

- 2020年の新設住宅着工戸数は、9.0万戸（前年比14.2%減）、このうち木造住宅は4.9万戸（同10.3%減）。
- 2021年1～7月の新設住宅着工戸数は、5.4万戸（前年比4.5%増）、このうち木造住宅は3.0万戸（同7.2%増）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2021年 1～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	54,323	51,991	4.5%	60,489	-10.2%
■ 非木造	24,600	24,266	1.4%	29,443	-16.4%
■ 木造	29,723	27,725	7.2%	31,046	-4.3%
■ 木造プレハブ	369	493	-25.2%	540	-31.7%
■ 2×4	4,337	4,559	-4.9%	5,546	-21.8%
■ 在来軸組	25,017	22,673	10.3%	24,960	0.2%
□ 木造率	54.7%	53.3%		51.3%	

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

